

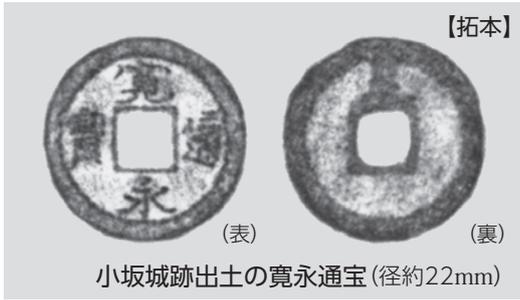


牛久のお宝

問 文化芸術課(牛久シャトー内) ☎874-3121

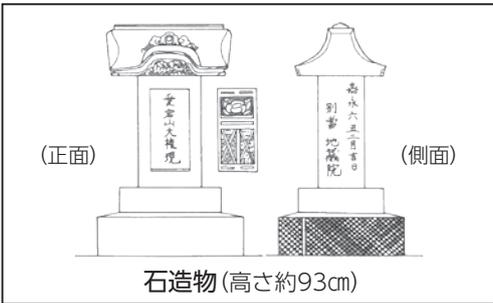
第18回 江戸時代のお賽銭

—小坂城跡(小坂町)—



小坂城跡出土の寛永通宝(径約22mm)

小坂城跡は、平成21年度から公園整備に伴う発掘調査が行われ、寛永通宝が4点発見されました。寛永通宝は江戸時代に広く流通した銭貨で、小坂城跡出土のものには裏面に「足」と記されたものもありました。これは足尾銅山(現・栃木県)で製造された足字銭という銭貨で、寛保2(1742)年から延享4(1747)年までの6年間に製造されました。寛永通宝が発見された三ノ曲輪にはかつて



石造物(高さ約93cm)

◆今回紹介した銭貨は、中央生涯学習センター展示ホールで展示中

愛宕神社があり、その石造物は昭和年間に小坂町の熊野神社に移されました。石造物に刻まれた「嘉永六年」(1853年)はペリーが来航した年で、江戸時代末期には愛宕神社が小坂城跡に存在していたことがわかります。小坂城跡出土の寛永通宝は、江戸時代の人々が愛宕神社にお参りした際のお賽銭だったと思われる。

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

第50回 イヌコリヤナギ



①開業期の樹冠:井ノ岡町湿原(平成24年5月17日撮影)
②対生葉:稲荷川岸(平成22年4月13日撮影)
③雄花序(花糸の先が葯で、黄色の部位は葯が破れて飛出した花粉):稲荷川岸(平成22年3月18日撮影)

ヤナギ科ヤナギ属の高さ2〜3mの落葉低木で、日本全国では日当たりの良い川岸などに生育し、幹は根もとからよく分岐しますが、少しずれて互生になること

ともあり、長さ3〜7cmでやや丸く無柄です(写真②)。雌雄異株。花は早春、この辺りでは開葉よりも早く、長さ1〜3cmの花序を出し、2月下旬から咲き始めます。雄しべの葯は2個で濃紅色(写真③)、花糸は合生して1本です。種子は白綿毛に包まれ、長さ3mmで、熟すと2片に裂開します。和名のイヌは役に立たないということで、類似種のコリヤナギ(行李柳)に劣るとされてきました。

※牛久の里山樹木ハンドブック29ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874-6600)まで。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会
(文章:秋山侑、写真:渡辺泰)

文芸さろん | 如月 |

齋米を集めて走る山寺の衣も裸け寒さ一重に 木村さん
古びたる歳時記開き初句会 進の介
冬モクレン長閑に眠り春を待つ 金子九十九
初曾孫三箇日にも御目見得か 堀さん
満月に二・三葉飾る冬木立 和多田さん
三家族孫と一緒にカラオケを 月田さん
「チューハイ一杯」ネズミ生まれの年女 空
おまけの人生楽しみ初句会 淑子

<次回募集テーマは「冬」>

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512
E:kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)